

議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成25年2月2日(土)19時00分から20時30分まで		
開催場所	東部コミュニティセンター		
参加人数	4人		
班 構 成	1班	藤田 博 奥田俊則 木村晴恵 田中久子	岡田千賀子 神吉史久 藤原秀策
役割分担	代 表 者	藤田 博	司会進行者 神吉 史久
	報 告 者	木村 晴恵	記 録 者 奥田 俊則
報告内容	平成24年9月定例会・10月臨時会・12月定例会における議案の審議結果		
報告に関する 質疑	(質 疑)		(答 弁)
	Q:土山駅南町有地の汚染物質は、どの程度基準値を超えているのか、また地下水に与える影響、処理方法は。		A:現在追加調査中であり、調査結果に基づいて対策を講じる。
	Q:長寿祝金の改正で、予算額はいくらか減額に。		A:約900万円減額になる。
	Q:国家公務員の給与の引き下げに対応して、職員給与の減額を議会として対応しないのか。		A:総務省からの対応要請は届いている。現在は、議会としての動きはない。
	Q:職員降任に関する裁判について、今後議会としての対応は。		A:議会としての対応はしていない。個人の議員が一般質問などで取り上げている。
意見・提言 等	(意 見 ・ 提 言 等)		(対 応)
	Q:テルペンとの訴訟状況は。		A:まだ時間がかかると聞いている。
	Q:交通・通学路の安全確保は。		A:学校・地元自治会などで警察に要望書を提出している状況である。 (補足)町では、通学路を示す電柱幕の設置を行っている。さらなる増設計画もしている。
	Q:水道水の値段は自治体によって違うが、高砂市と同じ価格にならないのか。		A:水源の問題・コストがかかる課題であり、安全供給が基本である。
	Q:職員の再任用制度は条例化しなければならない、今後の進展は。		A:現在検討中であり、平成25年度中に条例制定の提案があるだろう。

	<p>(意見)ある市では、ゴミ収集にかかわる職員が時間を有効に活用し、パッカー車に掲載する広告のお願いの営業活動をしている。職員の有効活用は姿勢の問題であり、参考にしてはどうか。</p>	
	<p>(意見)議会だよりは、要点を絞った説明もよい。議会の審議結果を載せていることは住民に知らせる大事なことです。</p>	
	<p>(意見)大池・水田川の臭いの問題で執行者側に知ってほしいのは、土壌に硫酸カルシウムを混ぜたら臭いはしない。アルカリにアルカリを混ぜて固めるのは駄目、土をよみがえらせる考えが必要である。</p>	
<p>備 考</p>		

議会報告会報告書

開催日時	平成25年2月2日(土) 19時00分から20時35分まで		
開催場所	西部コミュニティセンター		
参加人数	11人		
班構成	2班	宮尾 尚子 福原 隆泰 大辻 裕彦 河野 照代 宮宅 良 山本 雅之	
役割分担	代表者	宮尾 尚子	司会進行 河野 照代
	報告者	宮宅 良	記録者 山本 雅之
報告内容	平成24年9月定例会・10月臨時会・12月定例会における議案の審議結果		
報告に関する質疑	質 疑		答 弁
	<ul style="list-style-type: none"> ・播磨町は長寿祝金を今後も続けていくのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な問題などもあり、社会情勢を見極めていきたい。
意見・提言等	意見・提言等		対 応
	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの件で、赤字を補填するならバスを小型化するなど経費削減を運行会社に要望すべきだ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・赤字を補填するかぎりには経費削減できるよう、今後もしっかり追及していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・水田川の治水事業を早急に押し進めてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・議員一同重大な問題だと認識しており、今後も追及していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、廃油の回収率が悪い。燃料化やせっけん作りなどのPR不足ではないか。播磨町への転入者のゴミ出しマナーが悪い。行政はちゃんと指導しているのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルのことについては、厚生教育常任委員会で追跡なりPRを呼びかけたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住みながら自治会に入会していない人がいる。強制はできないが、自治会活動に支障があるので住民グループなどの窓口で入会を勧めてくれるとか協力してもらえないか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・厚生教育常任委員会で、自治会の地域の連携を含めて、どのような入会の啓発をしているのか調査する。 ・厚生教育常任委員会委員会で、生涯学習や人権の問題としても提案していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・西小校区に、若い世代を増やす努力を。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者も幸せになる権利がある。 播磨町は神戸市などに比べて手厚いサポートができていない。 要望は町にお見合いパーティーなど出会いの機会を作るとか、福祉の対応がわかりにくい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・年をとったらお金があるので、長寿祝金は今後もっと充実してほしい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿祝金の予算を障がい者福祉やコミュニティバスにまわしてほしい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・統括が議会で答弁するのはおかしい。答弁は理事がすべきで、それを問題にしない議員も悪い。 情報公開で開示された資料が真っ黒なのはおかしい。情報提供がなければ議会は審議拒否するべきで、裁判の件でも資料をださないと聞いた。材料がないのになぜ審議できるのか、不明なら拒否するべきである。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から議会の傍聴がしてみたかった。今日は勇気を振り絞ってきた。身近に議員と話せる機会があるのは良いと思う。これからは議会報告会が広がってほしい。議会だよりを真剣に読ませてもらう。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が住みたいと思うような播磨町にする工夫が必要。 「屋台 in はりま」などのイベントもやり方が中途半端に思う。やるならもっと工夫やお金をかけて人を呼べるものに。 	
備 考		

議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成25年2月9日(土)19時00分から20時30分まで		
開催場所	野添コミュニティセンター		
参加人数	14人		
班構成	1班	藤田 博 奥田俊則 木村晴恵 田中久子	岡田千賀子 神吉史久 藤原秀策
役割分担	代表者	藤田 博	司会進行者 神吉 史久
	報告者	木村 晴恵	記録者 奥田 俊則
報告内容	平成24年9月定例会・10月臨時会・12月定例会における議案の審議結果		
報告に関する質疑	(質疑)		(答弁)
	Q: 長寿祝金に関して、性急な削減は必要だったのか。また、修正案は対象人数を少なくするためのものではないのか。		A: 個人給付を縮小する中で、福祉制度の充実を図り、安心して生活できる環境にしたい。 修正案は特定の年齢の方に給付がないという不公平をなくすためのものである。
	Q: 削減の議決の前に、住民の意見を聞くべきではなかったのか。		A: 議会としては聞き取りを行っていないが、各議員が住民の意見を聞いた中で判断している。
	Q: 以前議会で土山駅南町有地に隣接する民有地について議論されていたが、その後の進展は。		A: 買収する方向で現在交渉中と聞いている。
	Q: グループを増やすのは、統括を増やすだけの施策か。		A: 現在、連合審査会ではグループを増やす必要性及び効果などについて議論している。
意見・提言等	(意見・提言等)		(対応)
	Q: 議会報告会に住民の出席が少ない、PR不足では。		A: 今回は議会だより、町広報に載せポスターも掲示している。また自治会に放送での呼びかけをお願いするなど様々な取り組みを行った。今後さらなる良い方法を取り入れて行いたい。

<p>Q:災害時の水不足は困る、対策は。</p>	<p>A:水道については加古川市と協定を結んでいる。 (補足)配水池として3か所最大13,500m³の貯水が可能であり、非常時(停電時)においても自家発電装置を稼働させ上水の供給が可能。また、非常時に備え2000tの貯水がある。 給水の容器類として、給水タンク8個(1m³用)やポリ容器300個(18未満)、ポリ袋約14000袋(6用)などを備えている。</p>
<p>Q:議会報告会の意見交換などは公表しているのか。</p>	<p>A:播磨町議会のホームページに報告書を載せている。</p>
<p>Q:議会事務局は議会報告会に参加しないのか。</p>	<p>A:議会報告会は議員自らが実施している。事務局職員は公務ではなく、住民として参加することもある。</p>
<p>Q:先日、加古川市では議員と町内会長の兼務は禁止となったが、播磨町議会ではどのように考えているのか。</p>	<p>A:以前に各種団体の役員就任などについて検討を行ったが、自治会長の兼務は禁止していない。</p>
<p>Q:PM2.5の観測装置を設置してほしい。</p>	<p>A:町内に2カ所観測装置がある。(庁舎屋上・蓮池小学校)</p>
<p>(意見)長寿祝金は良い制度であり高齢者を大切にす姿勢の問題だが、今回の改正は支給年齢を4回から2回に縮小するもので乱暴だ。</p>	
<p>(意見)町政に資金が要るのは理解するが、長寿祝金のような大事なものを削減するのはどうかと思う。</p>	
<p>(意見)議会を傍聴していても、一般質問の質問趣旨が分かりにくい。当局の答弁に上手くはぐらかされている。議員は詰めが遅く甘い、中身の濃い質問をすべきである。また休憩が多すぎる。</p>	

	<p>(意見)土山駅南町有地に関して、個人が土地を買うときはその前に調べる。当初から化学工場の跡地と分かっていた土地で、今このような調査をすることが不思議でならない。町としては甘い買収であったのではないか。これからの課題としてもらいたい。</p>	
	<p>(意見)関電などと連携して、電柱などもっと多くの場所に海拔を表示してもらいたい。</p>	<p>(補足)現在検討している。国により表示板の体裁が「海拔」に示されましたが、現在、本町では「標高」と表示している。どちらかの体裁に決定次第、表示の検討を進める。</p>
	<p>(意見)公園には自治会などが管理手数料をもらっているが、管理内容には差異がある。管理監督者は、チェックする必要がある。</p>	<p>(補足)近隣の自治会に委託している。それに対する委託手数料である。自治会において、責任を持って良好な公園管理をお願いしている。自治会から申し出があれば、担当グループで協議する。</p>
<p>備 考</p>		

議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成25年2月9日(土)19時00分から20時30分まで		
開催場所	南部コミュニティセンター		
参加人数	16人		
班 構 成	2 班	宮尾 尚子 福原 隆泰 大辻 裕彦 河野 照代 宮宅 良 山本 雅之 松岡 光子	
役割分担	代 表 者	宮尾 尚子	司会進行 松岡 光子
	報 告 者	宮宅 良	記 録 者 山本 雅之
報告内容	平成24年9月定例会・10月臨時会・12月定例会における議案の審議結果		
報告に関する 質疑	質 疑	答 弁	
	<ul style="list-style-type: none"> ・土山駅南追加調査の件だが、追加の土壌調査の分析結果は、再調査が必要なものなら数値や内容を確認すべきでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準を超える汚染物質が出たので再調査するものだが、測定数値などの報告はなかった。委員会で確認し報告します。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿祝金は、二市二町で足並みをそろえたのか。 ・どの程度減額となるのか。 ・楽しみを奪わずに残すべきではなかったのか。 ・内容も原案より修正案で悪くなった。議員側からなぜそんな提案がされたのか。 ・心身障がい者福祉年金も含めて、町予算にとってはわずかな金額のはずで、ここへ至った根拠は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・播磨町独自の提案で、足並みをそろえるものではない。 ・補足説明 参照 ・当局側は、それに変わる高齢者福祉施策を考えていきたいと答弁した。 ・不公平感のないようにとの思いから修正提案した。 ・社会情勢を考えると、少子高齢化のなかで現在ある介護制度などを守っていくため、個人給付から制度を安定させるほうへ、賛成せざるを得なかった。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・貯めていくだけでなく、預貯金の有効利用の考えは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財政調整基金は50億円ほどある。しかし、平成23年度の単年度収支は赤字で、そこに財政調整基金から繰り入れている。その中でやりくりして一定のレベルが保たれている。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・こどもグループを作るようだが、今までのちゃんとした体制がある。わざわざ作る必要があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもグループが必要なのかどうか十分に検証するという意味で委員会付託している。結論は待っていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム助成の当初予算は300万円だったが、補正では600万円増となっている。今後も増やしていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元業者に仕事を出す目的で導入された。今後3年間継続の見込み。
<ul style="list-style-type: none"> ・水田川は、一昨年の台風12号により古田西で床上浸水が30数戸あった。水田橋から山陽電車、新幹線の間での改修工事の進捗は。 ・県をとおして国に対して事業の進捗を図るよう要望すべきである。 ・工事に絡んで阿閉橋のところに仮設のごみステーションを作っているが、不法投棄が続き自治会は困っている。いつまで仮設で置いておくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県道土山別府線の改修された橋から上流50mまでは去年の11月頃から工事が進んでおり、少しずつではあるが進捗している。 ・仮設のごみステーションの問題は、担当部局に是正するよう伝える。
<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの草などの野焼きは禁止だと決まっているのか。それとも、町独自で決めているのか。野焼きは農家にとって大切なことだ。 ・焼けるような体制を作るのが政治ではないのか。 ・今日の結果は、どういう形で知らせてもらえるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補足説明 参照 ・委員会で審議するべきではないかと思う。今後検討が必要である。 ・現在は、報告書としてインターネットの議会ホームページに掲載している。各コミセンなどに文書ファイルで置くこともできると思うので検討する。また、議会だよりの次回発行は4月末になるが、報告会開催ごとに記事を掲載している。
<ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりは議会が発行するものだが、町から内容の修正とか記事の削除の要請などはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校正の際に発言の一部手直しの要望が出ることもある。数値の訂正など内容に変更がなければ応じているが、疑問のある場合は委員会の判断で発言どおり正確に掲載している。

	<ul style="list-style-type: none"> 明姫幹線の歩道橋が老朽化しており、一部では床に穴が開いている。通学に使っているところもあり危険だ。県の施設だが、撤去するのか架け替えるのか、または歩道橋をつぶして横断歩道を作るのか確認してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 補足説明 参照
意見・提言等	<p style="text-align: center;">意見・提言</p> <ul style="list-style-type: none"> 土山駅南の安易な土壌の再調査に町が費用を負担しているが、このことは今後の町有地売却に影響するのでは。 議会の一般質問の中で、議員はそれぞれ真面目に質問していると思う。質問に対する町長の答弁で一言多いことがいっぱいある。議員に対して「あなたそうでしょ」とかの言葉がはいつてくる。議場にいる議員はその場で注意してほしい。すごくはずかしい議場になっていると私は思っている。 一般質問の中で、議員の「住民と原告への謝罪は」という記事の一番最後のところに10月臨時会での「非があるのは原告である」の町長発言は撤回すべきで、謝罪が必要ではの答弁で「町長の思いを述べたものであり撤回については考えていない」と、これで終わってしまったが、このあと詰めた質問はしているのかどうか。町長が自分の思いだけで議会で発言することは非常に問題だと思う。 	<p style="text-align: center;">対 応</p>
備 考		

〈補足説明〉平成25年度改正前後の比較

長寿祝金

年齢	改正前			改正後		
	支給金額	支給人数	支給額	支給金額	支給人数	支給額
80歳	20,000円	265	5,300,000円	10,000円	265	2,650,000円
85歳	30,000円	142	4,260,000円	廃止	-	-
90歳	50,000円	80	4,000,000円	20,000円	80	1,600,000円
95歳	70,000円	15	1,260,000円	廃止	-	-
計		505人	14,820,000円		345人	4,250,000円

* 改正前14,820,000円 - 改正後4,250,000円 = 10,570,000円減額

特別長寿祝金

年齢	改正前			改正後		
	支給金額	支給人数	支給額	支給金額	支給人数	支給額
満100歳	100,000円	7	700,000円	100,000円	7	700,000円
満101歳以上	50,000円	14	700,000円	廃止	-	-
計		21人	1400,000円		7人	700,000円

* 改正前1400,000円 - 改正後700,000円 = 700,000円減額

障害福祉年金

	等級	条例改正前の予算見込			条例改正後の予算見込		
		年額（円）	見込人数	金額（円）	年額（円）	見込人数	金額（円）
身体障害者手帳	1	40,000	550	22,000,000	40,000	550	22,000,000
	2	40,000			40,000		
	3	30,000	193	5,790,000	/	/	/
	4	20,000	311	6,220,000			
	5	10,000	93	930,000			
	6	5,000	72	360,000			
療育手帳	A	40,000	145	5,800,000	40,000	145	5,800,000
	B 1	40,000			40,000		
	B 2	10,000	70	700,000	/	/	/
精神	1	/	/	/	40,000	12	480,000
	合計		1434	41,800,000	合計	707	28,280,000

* 改正前41,800,000円 - 改正後28,280,000円 = 13,520,000円減額

〈補足説明〉

野外焼却（野焼き）の禁止

廃棄物の野外焼却については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃棄物処理法)で禁止されていますが、廃棄物処理法第16条の2第3号に、

「公益上若しくは社会の慣習上やむを得ない廃棄物の焼却または周辺地域の生活環境に与える影響

が軽微である廃棄物の焼却として政令で定めるもの」と規定されており、

政令第14条には、

「農業、林業又は漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却」とあります。

よって、農業を営むための軽微な野焼きは禁止されていません。ただし、ここで注意していただきたいのは、廃棄物の焼却によって周辺住民から煙害による苦情が生じる場合は、軽微な焼却とは認められていないということです。

播磨町では、『パトロールするなどの取り締まりはしていませんが、苦情の通報にはすぐに対応しています。県からの文章を提示し、野焼き中止を指導しています。草の処理については、生の状態でいいので「燃えるゴミの日」に出してください。』とのことです。

* 播磨町における苦情件数の推移 平成23年：18件 平成24年：12件

〈補足説明〉

播磨町内の歩道橋改修に関する報告

- ・ 播磨町内には6か所の歩道橋があり、明姫幹線にかかるものが5か所です。
- ・ 土山駅鉄鋳場の歩道橋は平成22年に改修されています。
- ・ 明姫幹線にかかる歩道橋のうち4か所は昭和54年に設置され、旧播磨北小学校前は昭和57年に設置されています。
- ・ 加古川土木事務所管内の歩道橋は56か所あり、定期的に点検されています。改修については、利用度・必要度調査をして優先順位を決めるそうです。

* 播磨町内の歩道橋の調査結果 = 利用度低い